

複数のビューをもつ授業ポータルサイトの検討

A study on a class portal site with multiple views

CS50 和智 英之
指導教員 内田 健

1. はじめに

既存の LMS (Learning Management System) は、科目単位の授業コンテンツ作りにとっても優れている [1]。しかし、カリキュラムにおける科目の位置づけや科目間の関係、時間割表示など視覚的な操作環境を与えることが苦手な部分がある。

そこで本稿では、科目の位置づけや科目間の関連を授業ポータルサイトにおいて視覚的に表現することを目的とし、授業ポータルサイトの上位に位置するユーザインターフェースを提案する。

2. 授業ポータルサイトの上位インターフェース

本稿で提案するユーザインターフェースは、各科目のコンテンツをまとめている LMS の科目に対して、カリキュラムにおける科目の関連や位置づけを視覚的に表現するもので、LMS の上位に位置する web ユーザインターフェースである (図 1 参照)。本稿のインターフェースは、授業履修の時間経過における、「開講前」、「試験前」、「その他開講期間」の 3 つの時期に、学生の授業に対する意識が高まると想定し (図 2 参照)、それぞれの時期に適したビューをもつ。

この 3 つの時期に対するビューは、カリキュラムの全体像を把握でき科目間の関連がわかるビュー (開講前)、試験日程における各科目の配置がわかるビュー (試験前)、各クラスの時間割における各科目の配置を認識できるビュー (その他開講期間) である。また、複数のビューを生成する方法としては、一つの授業データベースへのクエリにより実行することを想定している。

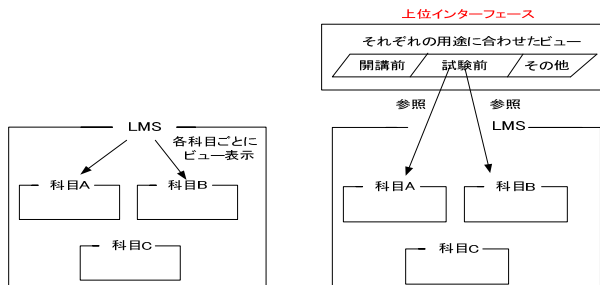


図 1: LMS 単体と上位インターフェースを使ったビュー表示の違い

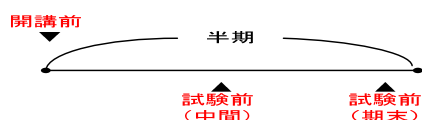


図 2: 学生の授業に対する意識が高まる時期

3. 上位インターフェースの実装

上位インターフェースの実装では、CentOS が入っている Linux システムに導入した XOOOPS を使って実装した。各時期に適したビューを具体化した例を図 3 に示す。図 3 において上のビューが開講前のビュー、中央のビューがその他開講期間のビュー、下が試験前のビューである。



図 3: 上位インターフェースを XOOOPS で実装した例

4. まとめ

本稿では、授業履修の時間経過に合わせた 3 つの時期に適したビューを持つユーザインターフェースを提案した。提案するインターフェースは、Moodle[2]等の LMS で提供される授業ポータルサイトの上位インターフェースを構成し、LMS が苦手とするカリキュラムにおける科目の位置づけや科目間の関連を視覚的に表現可能である。

今後の課題としては、LMS のデータベースの共有化を視野にいれつつ、ビューの自動生成手順を検討する必要がある。

文献

- [1]エミネットジャパン, webCT:大学を変える e ラーニングコミュニティ, 東京電機大学出版局, 2005
- [2]井上博樹, 奥村晴彦, 中田平, Moodle 入門, 海文堂出版, 2006